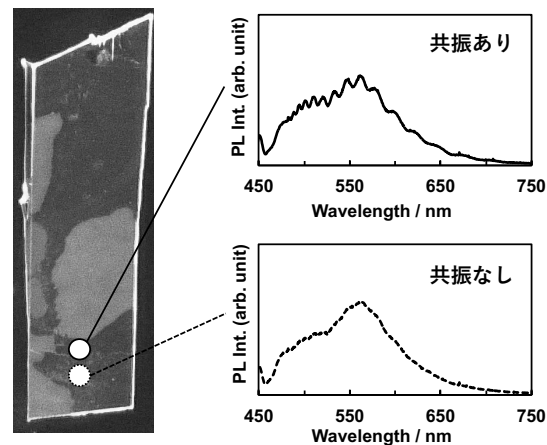


近年、我々は光共振器機能および光導波特性を示す柔軟性分子結晶を報告した¹⁾。これらの光特性は分子の構造やその配列に大きく左右されるため、分子設計や結晶構造形成過程、分子混合によって制御できる。ここでは、9,10 位に対する様々な二置換アントラセンを用い、発光性の柔軟性分子結晶合成を行い、その柔軟性挙動評価と光特性評価 (光共振器評価および光導波特性評価)を行った。興味深いことに、9,10-dicyanoanthracene からなる柔軟性分子結晶に対し、顕微分光を実施したところ、周期的に鋭い共振ピークを伴う蛍光スペクトルが得られた。この結果は、この柔軟性分子結晶がファブリ・ペローモード共振器として機能していること示唆している。本発表では、それらの詳細について述べる。



文献

1) S, Zhao, *Adv. Opt. Mater.*, **2022**, 10, 2101808.